

第10回河南町協働のまちづくりを考える懇話会 資料①

◎テーマ1.『条例の理念・原則について』

【条例の理念・原則について】

- 条例制定の目的を達成するため基本的な理念や原則について、定めるものです。
- 住民参画やコミュニティ、行政運営、住民・議会・行政のそれぞれの役割など、まちづくりに欠かせない個別具体的な項目について、これまでの懇話会で交換された意見を抽象的に総合した内容が「条例の理念・原則」となります。

【これまでの懇話会における議論の経過について】

- 別途資料②を参照。

【条例の理念・原則について:参考】

- これまでの懇話会で挙げられた各項目に関する意見を踏まえると、本町における理念・原則については、次の案が考えられます。

・(まちづくりの基本理念)

まちづくりは、持続的に発展可能な地域社会の実現に向けて、自主的・自立的な参画の機会が保障された住民が、主体となって行うものでなければなりません。

・(住民参画の原則)

住民は、自治の担い手として、責任をもって主体的にまちづくりに参画することを原則とします。

・(協働の原則)

住民、事業者、議会及び町は、互いの役割を相互に理解し、信頼関係を深め、協働してまちづくりを推進することを原則とします。

・(人権尊重の原則)

住民、事業者、議会及び町は、住民一人ひとりの人権が尊重され、その個性及び能力が発揮されるまちづくりを推進することを原則とします。

・(情報共有の原則)

住民、議会及び町は、まちづくりに関する情報を相互に発信することで、共有することを原則とします。



★上記の案にて過不足ないか、検討願います。

◎テーマ2.『情報・説明について』

【情報発信（公開）、情報共有について】

○まちづくりにおいて次の理由から情報発信（公開）、情報共有が必要とされています。

- ・まちづくりへの参画の機会を住民に伝え、住民参画を活性化させる。
- ・住民同士で独自に行ったまちづくりについて、行政が把握することで、今後の支援が期待できる。



★行政からの一方的な情報発信（公開）だけではなく、住民からも双方向的に発信することによる、情報共有が必要となります。

【説明責任について】

○まちづくりの透明性を確保するために、まちづくりに関する施策や成果、進捗状況について、行政が説明する旨の条文が規定されています。



★まちづくりに関するどのような項目（施策の内容等）の説明が必要か、考えなければなりません。

【個人情報保護について】

○住民、議会及び行政による双方向的な情報の発信・共有が進むと、それぞれが保有する情報量は増大し、その適切な管理（個人情報の漏洩のないような管理）が必要となります。



★河南町では個人情報保護条例がすでに規定され、個人情報の保護に取り組んでいます。が、とりわけ、協働のまちづくりを進めるための情報発信や情報共有を推進しようとする局面においては、個人情報の漏洩などによる人権侵害が起きないように、あらためて個人情報の保護を促す条文を規定する必要があると考えられます。